

節水とSDGs

秦野市立東中学校

二年 武富 理緒

最近ニュースなどで、節水という言葉をたまに聞きませんが、私は「節水って、なぜしなければならないのかな」「節水すると何が良いのかな」とふと思ったので、節水について調べてみようと思いました。

まず、節水をしたら何が良いのか調べました。

節水すると、水道代、電気代の節約や、CO₂の削減にもつながることが分かりました。

水道代の節約の事は、理解できましたが、電気代の節約やCO₂の削減につながるという事があまり分からなかったもので、さらに調べることにしました。

水道水を家庭に届けるために、浄水場、下水処理場、水供給するポンプなどで、たくさんの電気を使っています。小学校で、水道水を作るにはたくさんの手間がかか

っていることを思い出しました。色々な工程の時に電気が使われているという事が分かりました。CO₂の削減について調べると、日本の発電方法に関係があることが分かりました。日本では、火力が七六％、水力や、再生可能なエネルギーで一八％、原子力で六％の割合で電気が作られています。(二〇一九年の情報)日本の発電は、火力が半分以上なので、エネルギーを発生させるために必要な石炭や石油、天然ガスなどを燃やすことが、CO₂の発生につながるという事も分かりました。節水をする、電気の節約になるし、その電気を作るために発生するCO₂も削減できるという、メリットがあることが分かりました。

メリット以外に、節水する理由はなんだろう、なぜ節水って言うのだろうと考えたところ、SDGsにも水に関する目標があることを思い出しました。SDGsの六番目の目標に、「安全な水とトイレを世界中に」というものがあります。二〇三〇年までにすべての人々に安全で安価な飲料水を届けようや、ハフターゲットがあります。

世界中には日本のような清潔な水を使えず不衛生な水

を飲んだりしている子供たちがたくさんいます。それにより、感染症や下り、はいたりして脱水症状になり、最悪命を落とすこともあります。

私たちは、このような子供たちも今現在もこの地球上にいたりことや、水の大切さをもっと知り、無駄に使うことがないように、心がけるようにしなければならぬと思います。

節水する方法は、難しくなく、誰でも心がけ次第で出来ます。

例えば、洗濯する時は、風呂の残り湯で洗濯する、洗車はバケツを使う、食器や野菜はため洗い、トイレは大小の使い分けをしっかりとる、歯ブラシの時のうがい、コップを使う、などです。

これまで色々調べた結果、世界にはたくさん水不足で困っている人がいることが分かりました。もし自分の国が水不足になったら、もし世界中が水不足になって干からびてしまったらなど、これからの未来を考えると、世界中の水不足の人を救うような気持ちでいたらたくさん節水が出来るような気がしました。

私もこれからもっと世界中の水不足問題などについて

考えながら節水を行いたいと思います。この世界の水不足で困っている人が0人になるように、これからも努力していきたいと思います。

皆さんも、普段からの節水への意識や身の回りのちょっとした事から節水を心がけて行きましょう。